

# 市の財政って、大丈夫なの？

## 令和5年度の決算をお知らせします

財政局

TEL 0848-67-6028

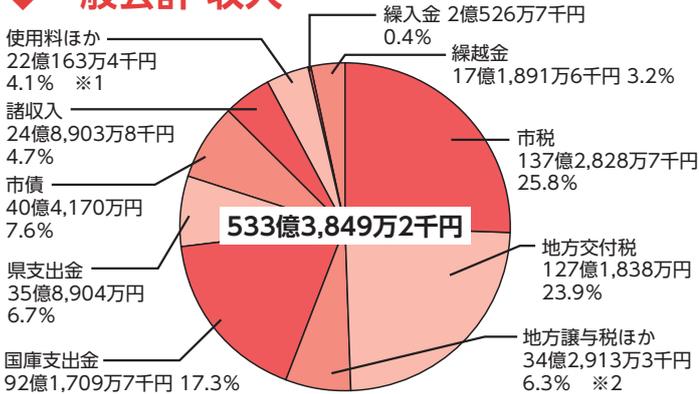
FAX 0848-67-6199

令和5年度は令和4年度に引き続き、一般会計、特別会計とも赤字ではありませんでした。

### ◆令和5年度の決算状況

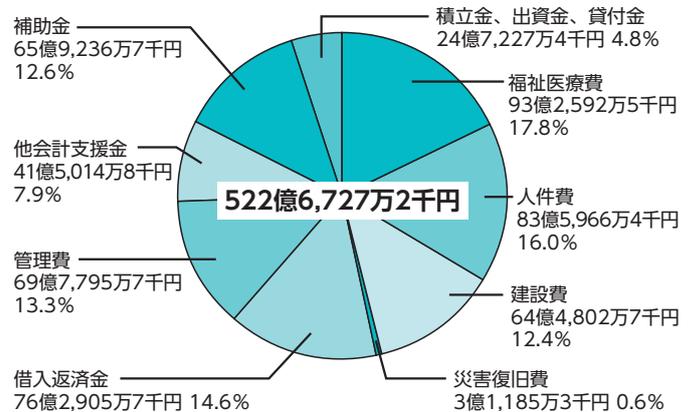
区分	一般会計	特別会計	合計
収入(A)	533億3,849万2千円	231億592万4千円	764億4,441万6千円
支出(B)	522億6,727万2千円	223億9,162万8千円	746億5,890万円
令和6年度に使うことが決まっている経費(C)	2億7,226万3千円	314万1千円	2億7,540万4千円
収支(A-B-C)	7億9,895万7千円	7億1,115万5千円	15億1,011万2千円

### ◆一般会計 収入



※1 使用料ほか…手数料、分担金、負担金、寄付金、財産収入を含みます。  
 ※2 地方譲与税ほか…地方消費税交付金、地方特例交付金などを含みます。

### ◆一般会計 支出(性質別)



### ◆一般会計 支出(目的別)



市の財政を、1カ月当たり31万9千円※3支出する家計に例えてみました。

※3 令和5年総務省家計調査による平均消費支出より

三原家(市)の家計簿

#### 収入

給与	182,339円	市税、地方交付税、うち基本給 83,787円 諸手当 98,552円
パート収入	28,628円	諸収入、使用料ほか
親からの援助	78,159円	国・県支出金
銀行などからの借入金	24,668円	市債
貯金の取り崩し	1,253円	繰入金
前月の残り	10,491円	繰越金
<b>収入合計</b>	<b>325,538円</b>	

#### 支出

生活費	150,528円	人件費、福祉医療費、食費51,021円、医療介護費56,919円、光熱水費や家の修繕費42,588円
家の改修・車購入	41,257円	建設費、災害復旧費
ローン返済金	46,562円	借入返済金
子どもへの仕送り	25,329円	他会計支援金
町内会費・保険の掛金など	40,235円	補助金
貯金など	15,089円	積立金、出資金、貸付金
<b>支出合計</b>	<b>319,000円</b>	

収支(収入-支出) = 6,538円 **黒字**

親からの援助でやりくりして、収支は黒字！引き続き節約していきます。

給料やパート収入は、収入の約65%で、親からの援助で家計をやりくりし、収支は黒字です。家の改修費は減少しましたが、医療介護費などが多くかかっています。物価高騰が続いているため、引き続き光熱水費や食費を節約していきます。

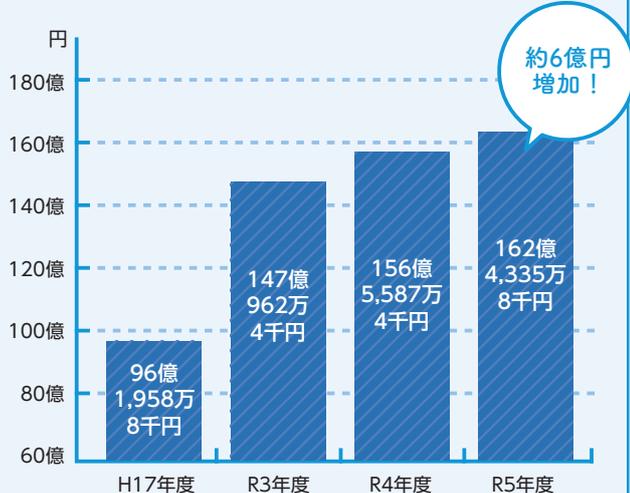
今月の家計簿報告

## 積立金(貯金)と市債(借入金)の残高(普通会計)

### 【積立金(貯金)残高の推移】

#### 「市の貯金」は約162億円に増加

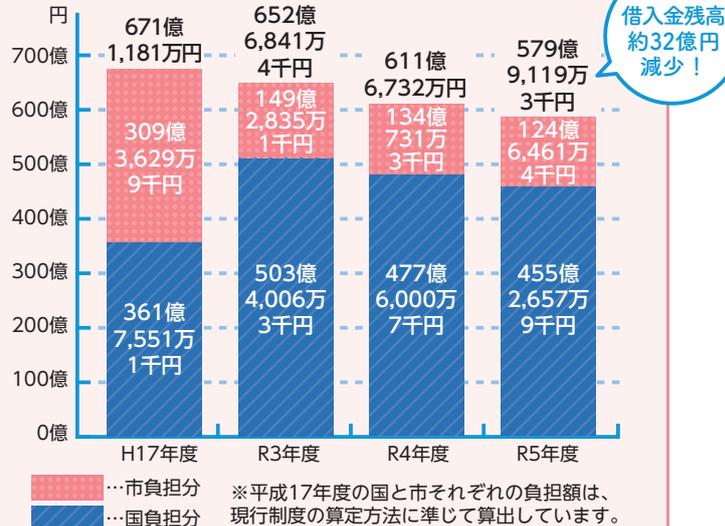
大規模事業基金などの積み立てを行なったため、貯金の残高は令和4年度に比べて5億8,748万4千円増加しています。



### 【市債(借入金)残高の推移】

#### 「市の借金」は約32億円減少

大型事業が完了したことで、新たな借入金が増加し、借入金残高は令和4年度に比べて31億7,612万7千円減少しています。



## 健全化判断比率と資金不足比率でみる市の財政状況

健全化判断比率・資金不足比率とは、自治体の財政破綻を未然に防ぐために国が定めた基準で、この比率でその自治体の財政の健全性を判断することができます。

**青信号**の健全段階です

**黄信号!** 財政が破綻寸前であることを示す国の基準

**赤信号!!!** 財政が破綻していることを示す国の基準

全ての項目で基準をクリアしており、財政は健全な状態にあるといえます。

指標	内容	三原市	早期健全化基準 経営健全化基準	財政再生基準
実質赤字比率	一般会計などの赤字比率	赤字なし	11.93%	20.00%
連結実質赤字比率	下水道などを含む全会計の赤字比率	赤字なし	16.93%	30.00%
実質公債費比率	収入に対する借入金返済額の比率	9.6%	25.0%	35.0%
将来負担比率	収入に対する借入金残高などの比率	11.4%	350.0%	—
資金不足比率	下水道など公営企業の赤字比率	資金不足なし	20.0%	—

## 令和6年度上半期の市の財政状況をお知らせします(令和6年9月30日現在)

### ●予算の執行状況

区分	予算額	収入済額	執行率	支出済額	執行率
一般会計	545億6,361万9千円	227億647万6千円	41.6%	212億2,133万3千円	38.9%
特別会計	240億1,439万1千円	93億6,236万7千円	39.0%	89億3,558万8千円	37.2%
合計	785億7,801万円	320億6,884万3千円	40.8%	301億5,692万1千円	38.4%

### ●市が保有する財産の現在高(財産区を除く)

財産	現在高	
土地(地積)	8,348,351.39㎡	
建物(延床面積)	465,387.82㎡	
基金	一般会計	162億4,177万5千円
	特別会計	21億6,122万2千円

### ●下水道事業の経営状況

上半期は、収益18億8,432万4千円、費用15億5,570万8千円で差し引き3億2,861万6千円の利益が出ました。

# 市職員の給与などをお知らせします

市職員の給与などは、地方自治法や地方公務員法に基づき、市の条例、規則で定められています。

市庁



☎ 職員課 ☎ 0848-67-6026

## 1. 特別職の給料など(令和6年4月1日現在)

区分	給料・報酬(月)	期末手当(年)
特別職	市長	94万3千円
	副市長	74万4千円
	教育長	65万円
議員	議長	53万円
	副議長	47万5千円
	議員	42万8千円

## 2. 職員の給与(一般会計決算)

区分	令和5年度	
職員数(A)	874人	
給与費	給料	32億5,911万円
	職員手当	7億355万円
	期末・勤勉手当	13億5,339万円
	計(B)	53億1,605万円
1人当たり給与費(B/A)	608万2千円	

## 3. 一般行政職の平均給料月額および平均年齢(令和6年4月1日現在)

区分	平均給料月額	平均年齢
一般行政職	327,700円	43.8歳

## 4. 一般行政職の初任給(令和6年4月1日現在)

区分	令和6年度	
一般行政職	大学卒	202,400円
	高校卒	170,900円

## 5. 一般行政職の級別職員数の状況(合計541人)(令和6年4月1日現在)

区分	1級	2級	3級	4級	5級	6級	7級	計
職務内容	主事技師	主事技師	主任主任主事主任技師	主査専門員	課長補佐係長	次長課長	部長参事	
職員数	56人	49人	174人	72人	113人	66人	11人	541人
構成比	10.3%	9.1%	32.2%	13.3%	20.9%	12.2%	2.0%	100%

※職員数は、職務区分による一般行政職の人数(税務職46人、看護・保健職27人、福祉職82人、消防職169人、技能労務職17人、幼稚園教諭28人、指導主事10人、特定任期付職員1人を除く)。

## 6. 職員手当の状況 ※水道・下水道事業会計除く。

区分	令和5年度	
扶養手当	支給総額	1億531万2千円
	対象者1人当たり支給年額	25万8千円
住居手当	支給総額	5,996万4千円
	対象者1人当たり支給年額	29万9千円
通勤手当	支給総額	8,754万3千円
	対象者1人当たり支給年額	12万7千円
期末勤勉手当	支給総額	14億1,107万5千円
	職員1人当たり支給年額	155万0千円
時間外勤務手当	支給総額	2億6,948万6千円
	職員1人当たり支給年額	35万6千円
退職手当	定年職員平均支給額	2,240万3千円

## 7. 部門別職員数の状況(各年4月1日現在)

部門	職員数(人)		対前年増減数(人)	
	令和6年	令和5年		
一般行政部門	議会	7	7	0
	総務	206	208	-2
	税務	46	45	+1
	民生	172	180	-8
	衛生	59	59	0
	労働	0	0	0
	農水	28	27	+1
	商工	17	17	0
	土木	81	80	+1
	小計	616	623	-7
特別行政部門	教育	92	86	+6
	消防	169	166	+3
	小計	261	252	+9
普通会計 計		877	875	+2
公営企業部門など	下水道	14	14	0
	その他	30	30	0
	小計	44	44	0
合計		921	919	+2